

「高校生のための学びの基礎診断」検討ワーキング・グループについて

平成 29 年 7 月 4 日
初等中等教育局長 決定

1. 趣旨

高等学校教育の質の確保・向上のため、高校生のための学びの基礎診断（以下「基礎診断」という。）の認定の枠組みの構築及び高校生の基礎学力の定着に向けた P D C A サイクル構築に向けた測定ツールの活用に関する検討を行う。

2. 検討事項

「高校生のための学びの基礎診断」検討ワーキング・グループ（以下「検討WG」という。）では、以下の事項について検討・整理する。

(1) 基礎診断の認定の枠組みの構築に関する事項

- ・ 認定基準（認定要件，申請事項，確認の視点）
- ・ 審査の体制（申請から認定までの流れ）
- ・ 事後チェックの仕組み（事業概要報告の活用）

(2) 高校生の基礎学力の定着に向けた P D C A サイクル構築に向けた測定ツールの活用に関する事項

- ・ 測定ツールの充実に yönelik 調査研究の在り方
- ・ 測定ツールの効果的な活用に関する調査研究の在り方
- ・ 測定ツールの活用促進のための高等学校等への情報提供の在り方

(3) その他高校生の基礎学力の定着に向けた P D C A サイクル構築に関する検討が必要な事項

3. 構成員

(1) 検討WGの構成員は、別紙のとおりとする。

(2) 必要に応じて、構成員以外の者から意見を求めることができる。

4. 検討WGの運営

(1) 検討WGは、検討の円滑な実施に影響が生じるものとして非公開とすることが適当であると主査が判断する場合を除き、原則として公開するものとする。

(2) 検討WGの会議資料は、検討の円滑な実施に影響が生じるものとして非公開とすることが適当であると主査が判断する資料を除き、原則として公開するものとする。

(3) 検討WGの議事要旨を作成し、これを公開するものとする。

(4) その他検討WGの運営に関し必要な事項は、必要に応じ別に定める。

(5) 検討WGに係る庶務は、関係部局及び関係機関との密接な連携の下、初等中等教育局高校教育改革プロジェクトチームにおいて処理する。

5. 検討期間

検討WGは「2. 検討事項」に係る意見が取りまとめられた時に廃止する。

「高校生のための学びの基礎診断」検討ワーキング・グループ 名簿

(敬称略・五十音順)

- 荒瀬 克己 大谷大学文学部教授
- 岡本 和夫 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構理事
- 柴山 直 東北大学大学院教育学研究科教授
- 清水 美憲 筑波大学大学院教育研究科長・教授
- 関根 郁夫 十文字学園女子大学特任教授
- 竹内 理 関西大学外国語学部・学部長・教授
- 長塚 篤夫 順天中学・高等学校長
- 根岸 雅史 東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授
- 藤森 裕治 信州大学学術研究院教育学系教授
- 前川 眞一 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授
- 宮本 久也 東京都立西高等学校長

(計 11 名)